

## 第6回伊勢原市青少年育成審議会 会議録

〔事務局〕 子ども部青少年課

〔開催日時〕 平成29年2月16日（木）午後7時～

〔開催場所〕 伊勢原市青少年センター2階 工芸室

〔出席者〕

（委員） 芦原秀人、宮森孝史、冨塚 正、山元朋美、若松 操、吉田幸代、  
錦織 勝、平田順子、玉井ふみ子、河口友喜、峰 孝一、小澤寛治、  
青木清徳、高橋一枝

（事務局） 子ども部長、青少年課長ほか1名

〔公開可否〕 公開

〔傍聴者数〕 0名

### 《審議の経過》

1 開 会 青少年課長

2 あいさつ 会長

3 議 事

（1）報告事項

成人式の開催について

○事務局から平成29年1月9日に举行された成人式の結果を報告した。

（2）協議事項

子ども・若者を育てる地域社会づくり（子ども会・放課後子ども教室の在り方）について

○事務局から政策提言書（案）の修正版を提示し、修正した内容について説明した。

（会 長）ただ今事務局から政策提言書（案）の修正内容について説明がありました。ページ順に御意見を伺います。

まず、P1「テーマの選定理由」について、関係法等の記載を追加していますが、これについては問題がないと思います。

次にP2に単位子ども会の記述の修正が複数ありますが、いかがでしょうか。

(委員) ～意見なし～

(会長) 私から質問します。桜台と比々多の地区子ども会育成会連絡協議会は休会とありますが、両地区の単位子ども会で活動しているところがありますか。

(事務局) 最近の両地区の単位子ども会の情報は把握していません。

(委員) 比々多地区では、10地区で単位子ども会が活動しています。学校とのつながりがありますし、地域に神社が多いのでお祭りなどを一緒にやっています。

(会長) 次に、P3で、子ども会の記述を1、放課後子ども教室の記述を2として、区別しやすくなったと思います。また、その現状・課題をA、現状・課題に対する理想(あるべき姿)をB、理想(あるべき姿)の実現に向けた取組方針をCとしています。

P4 子ども会の現状・課題に対する理想(あるべき姿)の1-B-4「運営に関する負担」関連に、「地区子ども会育成会連絡協議会の運営は、地域団体・機関の協力を得て行われています」という記述を追加していますが、これは問題ないですかね。子ども会の内容についての修正は以上ですが、この他に何かありますか。

(委員) ～意見なし～

(会長) 次に、放課後子ども教室についての修正箇所に進みます。

P9に放課後子ども教室のアンケート調査結果を追加しています。

P11には、前回協議した内容を追加しています。放課後子ども教室の現状・課題に2-A-2「子どもと関わった経験のある協力者の確保」及び、2-A-4「事業の拡充」についての記述を追加しています。また、P12 放課後子ども教室の現状・課題に対する理想(あるべき姿)の2-B-2「子どもと関わった経験のある協力者の確保」関連や、P13 放課後子ども教室の理想(あるべき姿)の実現に向けた取組方針の2-C-3「保護者の協力者の確保」関連の記述を追加していますが、何か御意見はありますか。

(委員) ～意見なし～

(会長) 次にP15の「3 政策提言」に進みます。政策を(1)子ども会のみ、(2)放課後子ども教室のみ、(3)両方にかかる政策に分けて見やすくなりました。

前回の会議で出た「インターネットによる会議」や「放課後子ども教室の内容を多くの人に知ってもらふ必要性」についての記述が追加

されています。また、P 17「政策5 人材バンクの運営（1）人材バンクイメージ図」で、実施する施設の名称が「生涯学習関連施設」と修正されましたが、修正前は何となっていましたか。

（事務局）「青少年センターなどの公共施設」でした。

（会 長）これを総称として、生涯学習関連施設に修正しています。

また、「（2）人材バンクの運営詳細」で、「最新の内容による継続的な人材育成講座の実施」、「市の公式ツイッターによる周知」、「保険対応」といった記述を修正・追加していますが、何か御意見はありますか。

（委 員）P 17「（1）人材バンクのイメージ図」の登録者の中で、「地域の工作等が得意な人」という言葉の遣い方が気になります。

（委 員）「地域で」としたらいかがでしょうか。

（委 員）「地域の」でも良いと思います。

（会 長）どちらかに統一しましょう。これは難しいので、副会長と私で調整させていただきます。

（委 員）P 4の子ども会の現状・課題の1-A-5の「スポーツクラブや習いごとに通っているため、地域に子ども会があっても加入しない人もいます」の記述で、「も」がつながっています。表記を整えてみたらどうですか。「加入しない人が」に変えるのはどうですか。

（委 員）「子ども会があっても」という言い方よりも「子ども会に加入しない人がいます」とした方がすっきりすると思います。

（委 員）「地域の子ども会に加入しない人もいます」ではどうでしょうか。

（会 長）では、「スポーツクラブや習いごとに通っているため、地域の子ども会に加入しない人もいます」に修正します。

（会 長）P 19「4 その他の提言」の内容はどうか。

（委 員）P 19「（1）子ども会①運営方法」の記述で、「子ども会の OB・OG や地域団体等に運営の協力をいただく」を「していただく」とした方が良いと思います。

（会 長）そこを修正します。後はどうでしょうか。

（委 員）～意見なし～

（会 長）以上で政策提言書（案）の修正についての協議を終了します。

では、これまでの協議のまとめとして、副会長に総括をお願いします。

（副会長）これまで協議に御協力をいただきありがとうございました。

現在の社会をキーワードで考えてみました。「格差社会」になり、また、「子どもの貧困」という言葉が使われるようになりました。少し前

までは、「豊かになった」とか「豊かさ」という言葉が出ていたのに、どこへいったのかと思いました。私が生まれた時は、戦後の貧しいことが当たり前の時代でした。いろいろなものがほしいと思って我慢してきて、いつの間にか日本は発展して豊かになりました。「長寿国」という言い方をすれば、高齢化が進行形になって、たった30年位の間に「超高齢社会」になりました。先進国の中では、他に類を見ません。長く生きて命を享受できる国になったはずなのに、では、何が豊かになったのかと考えてしまいます。

「貧困」からスタートして豊かさを目指し、それを手に入れて、「ゆとり」ができ、「ゆとり社会」、「ゆとり教育」と別の言葉をくっつけて、「ゆとり」を考える時代を経て、「勝ち組・負け組」ができました。その後「格差社会」や今、話題になっている「貧困」が出てきました。皆が「貧困」の時代には皆で支えてきたのに、今の「格差社会」では、支えようということがない。ある程度「ゆとり」のある人が、自分の生活を守るだけで他の人のことまで考えられない時代になったのが、さみしい気がします。

私が運営に関わっているNPOでは、児童コミュニティークラブや子ども食堂の運営、一人親家庭の子どもに対する学習支援を行っています。いつも子どもたちが来てくれるので、こういう支援を必要としている人がいることが分かりました。

伊勢原を見ていると全体的に平和なのかなと思います。人口が減らないのもそうでしょう。伊勢原の子どもはまだまだ幸せの状況にいるのかなと思います。今回協議を行ってきた政策は、子どもを支える周囲の大人の役割や責任に関する事で、これらの政策を実現できるよう3月下旬に市長に提言をする予定です。それまで引き続き皆様方の協力をお願いします。

(会 長) 私からも一言お話しします。

私は母から、いろいろなものを受け継いでいますが、それをまだ發揮できていないと思っています。今回の審議会の委員を受けることについても、母から受け継いだ宝物を新しく培う機会と思ってやってきました。

自分は生まれた時から目が見え、言葉を話すことができ、耳が聞こえますが、その生まれた時から持っている宝物をしっかりと使えていないと感ずることがあります。今話題のいじめの問題では、宝物を凶器として使っていて、残念だと思います。子どもたちだけでなく、大人も祖先から受け継いだ宝物を宝物として使うか否かは、自分自身の問

題です。常に自分の宝物を生かすよう自分自身を磨く必要があると思います。私自身も陸上をやっていて、常にトレーニングが必要だと思いました。心のトレーニングもしないと駄目と暗示をかけています。トレーニングをしながら、自分自身を磨いていけたらと思います。今回、素晴らしい提言ができたので、実施できるようにサポートする役割もあるかなと感じています。子どもたちが生き生きできるようにしていかないと、世の中は悪い方向に行きますので、凶器でなく、宝物として少しは自分の力を使えたかなと思っています。

### 3 閉 会 子ども部長